



とうま 冬真ちゃん・ゆうあ 優吾ちゃん
(平成14年12月5日生・平成16年12月18日生)
両親＝林直樹・美枝子さん〔西足洗〕
「ぼくたち、仲良し兄弟だよ」
お揃いの服を着るとうれしいな!!



まゆ 茉優ちゃん(平成18年3月24日生)
両親＝石橋真人・睦子さん〔井戸野〕
「寝返りしてご機嫌」
笑顔がステキ♡



さな 紗菜ちゃん(平成18年1月18日生)
両親＝大久保正樹・幸江さん〔蛇園〕
「大好きなパパとお風呂に入ったよ」
気持ちいいな～!!

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



紙上展示室―旭モノ語り― 第十九回

出征軍人書簡

今回は、大原幽学記念館で開催中の「収蔵品展」から展示資料をご紹介します。

この書簡は、いわゆる軍事郵便といわれているものです。軍事郵便制度は、戦地にいる軍人などの通信に用いられた郵便のこと。日本では明治二十七年(一八九四年)の日清戦争の始まりとともに実施され、昭和二十年(一九四五年)の第二次世界大戦終結まで続けられました。戦地からの送料は無料でした。

この地域でもたくさんの人々が戦地に赴きました。記念館で収蔵しているのは、旧古城村役場にあったものの、その数なんと一、四二三通。昭和十二年(一九三七年)から昭和十五年(一九四〇年)までの日中戦争のときのものです。当時の兵士が、ふるさとの古城村役場や村長あてに送ったものを、役場兵事務係が焼却するのを惜しみ、隠し置いたといえます。

軍事郵便には必ず部隊内検閲があり、戦地の情報や戦意高揚に反することは書けないことになっており、検閲の印が押されました。この書簡は、満州国牡丹江の部隊に所属している兵士によるもの。「暁の斥候」「鉄道の守り」「かめ風呂」などの絵はがきも見られます。近況報告や訓



練の様子、慰問品や手紙のお礼、戦地での暮らしぶり、戦いへの思いがつづられています。

「拝啓 其後内地には水はあります。種時(とき)の後も多分よく芽が出て皆様の喜ぶところでしよう」「小生も元気で軍務に勉めてをりますから他事ながら安心ください。自分は爆弾コウジ命ぜられました」「満州も南風(なんふう)が福(ふく)吹くと今はとても暖かくなつてよい春であるよ」

『古城村史』には、出征軍人の一覧が掲載されています。一、四二三通の手紙が、歴史の証人として戦争の一面を今に伝えています。

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

暮らしのカレンダー

- 2日(金) 環境衛生大会 (14:00～ 東総文化会館)
- 3日(土) 節分会 (市内各寺・神社で開催)
- 4日(日) 第18回旭市飯岡おさいマラソン大会 (8:30～ いいおかユートピアセンター)
- 11日(日) 建国記念の日
- 16日(金) 市・県民税、所得税の申告受け付け開始 (～3月15日(木))

編集後記

元日、初日の出を撮影しようと向かった飯岡刑部岬展望館。余裕をもって家を出ましたが手前から渋滞。どうにか日の出には間に合いましたが、人出の多さには驚きました。ここから見る朝日も見事です。が、今の時期は夕景も話題のひとつ。茜色の空に浮かぶ漆黒の富士山。その富士山に沈む夕陽を見るチャンスは今月下旬だけです。地元に住んでいても、まだ見たことのないその景色。今年は見ることができるとか、少し足を運んでみようと思います。(S)